

豊かな森林を未来にのこそう

もりのかぜ だ・よ・り

No.38

夏号

認定非営利活動法人 森林の風
会長 瀧口邦夫/令和2年7月発行



緊急事態宣言が解除されて再開した御在所ロープウェイ。この青空、樹木の緑をコロナから取り返し、大勢の皆様と一緒に野外活動ができるよう努力していきます。森林の風は、歩みを止めません。

第38号 ラインナップ



- ・挨拶「15年目を無事迎えて」 _____ ②
- ・15周年記念寄稿 「NPOの森づくり」 _____ ③
- ・令和2年度 事業計画 _____ ④⑤
- ・2020年秋バージョン「まちのきこり人育成講座」のご案内 _____ ⑥
- ・これからの予定レベルアップ研修のご案内 _____ ⑦
- ・御在所岳頂上植樹<“5500本 GOGO植樹”プロジェクト>のご案内 _____ ⑧
- ・森林の風現在の状況 _____ ⑧

森林施業 認定NPO法人



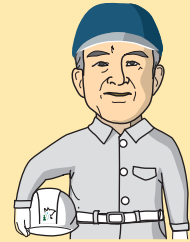
連絡先/〒512-0933 三重県四日市市三滝台4丁目15-7 TEL059-321-7719 携帯電話090-9663-4088
菰野事業所/〒510-1251 三重県三重郡菰野町千草7045-82

<http://www.morinokaze.info>

*詳しくは、ホームページまたは上記まで問合せください。

15年目を無事迎えて

認定NPO法人 森林の風 会長 瀧口 邦夫



目的を明確にした森林保全活動を考えてスタートし15年目を無事迎えました。多くの会員、行政、林業家、企業の皆さんに支えられ感謝しています。会員の皆さんには得意の分野で会の企画運営に協力していただきました。設立と同時に開始した「まちのきこり人育成講座」「レベルアップ研修会」で人材育成を進めて共に“学び”、“考える”ことの大切さも認識しました。地球規模で起こっている環境変化に対応できる森林保全活動を目指したい。このような活動に興味のある方は、事務局にコンタクトして下さい。これからも安全第一でマナーールを守りながら進みます。



認定NPO法人 森林の風からのお知らせ



①「まちのきこり人育成講座」を再開します。

コロナウイルスの関連で延期していましたが「まちのきこり人育成講座」を9月から開講します。紹介ページをご参考にしてください。

写真は、緊急事態宣言以前に実施された、令和2年度の「導入編」での1枚です。コロナの影響が、これほど長引くとは思っていませんでした。やっと再開できます。

皆様と再会できることを楽しみにしております。

② 森を守り育てる活動にご協力ください。

認定NPO法人森林の風は、放置され荒れた森林を整備するため2005年に設立されました。「参加し、ともに汗を流し、対話すること」を合言葉に活動を進めてまいりました。林業および森林・自然環境保全を進める企業・団体をはじめ多くの方々に信頼とご協力、そして活動の支援をいただいています。

活動継続、新たな活動のため、当法人の理念や活動内容に共感いただける新規賛助会員を広く募集いたしております。

年会費	個人	1口	3000円以上
	法人	1口	10000円以上

特典

認定NPO法人ですので税制控除が受けられます。
年末に寄付領収書を発行します。

③ 森林保全活動への参加について放置山林の整備、森林環境教育、間伐材の有効活用(薪の予約受付中)などご興味がありましたら遠慮なく事務局にお問い合わせください。

15周年記念寄稿《NPOの森づくり》

森林の風 相談役 松永幸男



太田賀山林

三重県南部の尾鷲地域で先進林業を展開されている速水林業の太田賀山林を二度訪れたことがあります。忙しい中、速水亨氏に美しいヒノキの森を案内して頂き、また速水林業の技術、経営、思想も説明頂きました。この森は、人工林の森に携わる者にとって目指すべき方向であろうとも思っています。しかしながら森林の風の現実、植林後長い間放置された山林を預かることが多く、遅まきながらの枝打ちや間伐を行っています。施業の適期から外れた手入れであるため、材質などでは速水林業の森には程遠いのですが、森林が持つ多面的機能を発揮させるための森づくりの点では、少しでも近づきたい思いでやっています。

一方、近年は長年放置された里山再生の依頼が多くなってきています。目指す里山再生の方向は山林所有者の意向が基本ですが、特に意向が示されないことが多いため、旧来の里山で行われていた雑木材の利用という視点から外れ、人の目に美しいと感じ、森に入ると安らぎを感じられるような里山づくりを目指しています。整備にあたっては水源涵養、土砂流出防備、保健保安林を念頭に置き、なるべく樹種が多く、豊かな植生となるような森づくりを心がけています。

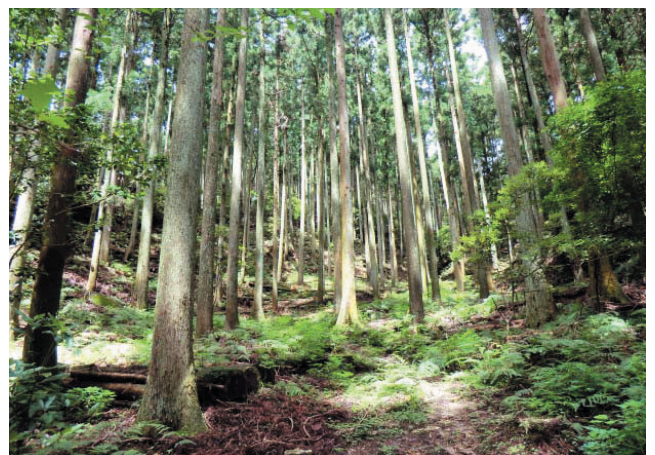
人工林、里山とも、多くは三重県が提唱する「企業の森」として、5年間程度の森林保全計画に基づいて、企業からの委託契約によって森林施業を行っています。5年間で1巡の整備は出来ませんが、森づくりは継続的な手入れが必要であることを理解して頂ける企業も多く、2期、3期と企業の森の契約延長して頂けることを有難く思っています。

また、NPOの特性として、寄付金や助成金を頂いており、この資金を活用し、森を守ることでできる「きこり人」を育成するなどし、少しでも多くの人に森の大切さを理解してもらい、さらには放置山林の整備に向かってもらえるよう、人材育成や啓発活動に力を入れています。

森づくりに関わる機関は、行政、森林組合、林業会社、個人経営者と広範囲にわたり、それぞれ森に対するスタ



森林の風施業地【整備前】



森林の風施業地【整備後】



企業の森【作業風景】

ンスは違うと思われま。NPO法人森林の風としては、木材搬出や林道整備する技術や大型機械は持てませんが、今後とも他機関では出来ない・やりにくい「きめ細かな森づくり」、「きこり人づくり」を進めて行けたら…。さらには、実働会員の高齢化を少しでも解消でき、最近減少しつつある人工林の整備面積の増加が計れたら…。 と思っています。

令和2年3月22日(日)に令和2年度通常総会を開催しました。
議案につきまして令和2年度事業計画及び予算計画について満場一致で可決されました。

令和2年度 事業計画

認定NPO法人森林の風

1. 活動方針

- ① 安全作業が何よりも優先される、「危険予知能力の向上」そして「実践する」姿勢をもって、森に優しい森林施業を進める。
- ② 持続可能な組織にするため、会員の確保・育成に努めると共に、活動拠点の整備に努める。

2. 事業計画

◎印は寄付金を充当する事業

事業名	事業計画	上段:地区全体概要 下段:令和2年度事業計画	会 員 延活動人数	受 益 者 延参加者数
1. 人工林総合施業				
◎ 向井 F 1	<ul style="list-style-type: none"> ● 亀山市加太向井9.4ha(鈴鹿森林組合所有林)。2005年～本田技研(株)の協力により、間伐、歩道作り、定点観測、ホンダの森林保全活動の場所として活用してきたが、28年度をもって本田技研(株)は撤退した。 ● 29年度からは独自の管理林としたが、活用方法が見い出せていない。令和2年度は各種団体の森林環境教育の場として活用要求があれば再開する。 		0	0
エイチワンの森	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森(株)エイチワン)。亀山市三寺町0.81ha(堤氏所有)。平成26年11月～30年10月。 ● 前施業地が5月で整備終了し新たに近隣の私有地(地権者4人)2.48haの契約を結び(平成30年12月～令和5年11月)、林内の間伐・歩道作りを進めると共に、年2回(5月、11月)の森林保全活動イベントを継続して行う。 		70	150
三重県民の森	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成23年12月に①ヒノキの森及び生産の森の間伐②枯損木の処理③森林学校の開催について「三重県民の森管理に関する協定書」を締結。 ● 昨年度は無かったが枯損木の処理、雑木林の笹刈り・除伐依頼があれば対応する。 ● 年1回の間伐体験イベントの指導を行い追加のイベントがあれば対応する。 		10	20
LIXILの森	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森(株)リクシル)。伊賀市上阿波2.76(ヒノキ林2ha、植栽地0.76ha)。平成27年4月～令和2年3月。 ● 令和2年3月末で契約期間終了で(株)LIXILは活動の継続は行わず上阿波森林組合に返却。 		0	0
コマダの森	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森(株)コマダ)。菟野町千草6ha(スギ、ヒノキ林)。平成29年10月～令和4年3月。 ● 散策路整備、森林整備(主として間伐)、及び年1回の森林保全活動イベントを継続して行う。 		100	50
私有林 森林施行	<ul style="list-style-type: none"> ● 活動余力が生ずれば後日調整する。 		0	0
森林組合協同事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 森林組合からの要請に応じて対応する。 		0	0
2. 里山再生				
こもれびの森	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森(N T N(株))、桑名市多度山4.5ha、第1期平成22年11月～27年3月でサクラ、モミジ1,000本植樹した。平成27年度から2期目(平成27年4月～令和2年3月)、今年度から3期目(令和2年4月～7年3月)。 ● 過年度植樹苗の保育、歩道補修、間伐、年1回(3月)の森林保全活動イベントを継続して行う。 		70	50
憩いの杜	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森(T S テック(株))、桑名市茅ヶ崎2.9ha。第1期平成24年11月～29年3月。第2期29年4月～令和4年3月。 ● 年数回林内整理、歩道補修、年1回(11月)森林保全活動イベントを行う。 		70	100
TOYOTIRES 緑のつながり・三重	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森(東洋ゴム工業(株))、東員町城山5.27ha、平成26年10月～令和1年9月。2期目活動継続令和1年10月～5年9月。 ● 過年度整備済み林内の再整備(除伐とそれのチップ処理)、年1回の森林保全活動イベントを行う。 		70	110
ブレンディの森	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森(味の素AGF(株))。平成26年10月～令和1年9月。亀山市関町沓掛2.56haの雑木林に加え平成30年1月に 10.78haの人工林を追加契約した。 ● 年3回の森林保全活動および2回の地域企画開催する(歩道作り、植樹、間伐体験、回遊など)。尚、令和2年4月からは3.04haのエリア拡大して自然の家裏側まで歩道整備を行う。 		160	380
ホンダの森	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森(本田技研(株))、亀山市関町3ha(大滝県行造林地)、平成29年4月～令和4年3月。 ● 年数回の林内整備と年2回の森林保全活動イベントを継続して行う。 		80	80
アカガシの森再生	<ul style="list-style-type: none"> ● 菟野町からの受託。平成28年度にパッチディフェンスを4基設置し、除伐、アカガシその他広葉樹の植栽を行った。令和2年3月パッチディフェンス基増設(アカガシ100本植樹) ● 令和2年度は、パッチディフェンス周辺の除伐、パッチディフェンス内の植生について定期的に経過観察を行う。 		30	0

JAバンクの森 菰野	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森(三重県信用農業協同組合連合会)。菰野町千草1ha(千草財産管理組合)。平成29年11月～令和4年10月。 ● パッチデフェンス2基内の(アカガシ、ミツマタ、シャクナゲ)下刈り等活動範囲の維持管理を行う。 	15	0
ふれあいの森	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森(ホンダロジステックス株)。菰野町千草2ha(千草財産管理組合)。平成30年3月～令和2年3月。 ● 林内整備と年2回(6月、11月)の森林保全活動(歩道補修、植樹、間伐体験など)を継続して行う。 	120	80
私有林整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 西山町0.41ha草刈、奥田園0.24ha管理、南条園0.12ha草刈、菰野富士植樹木の管理。 	30	0
3. 竹林整備			
◎下大久保	<ul style="list-style-type: none"> ● 鈴鹿市下大久保町自治会所有1.70haの竹林について自治会と契約。第1期平成23年8月～29年8月を終え、第2期平成29年9月～令和5年8月の6年間を更新契約。 ● 竹林の整備を年2～3回行う。タケノコの収穫および竹材の確保する。 	30	0
4. 森林施業基礎講習			
◎まちのきこり人 育成講座	<ul style="list-style-type: none"> ● 基幹事業の1つで平成18年から始め令和1年度までに14回開催、190名が受講している。(令和1年度は14名受講) ● 令和2年度も4?6月に7日間の日程で開催する(5名の申込)。 ● 併せてフィールド見学会等を検討する。 	90	100
◎レベルアップ研修(施業実技講習)	<ul style="list-style-type: none"> ● 会員等の知識・技術のレベルアップを目的に年5回程度開催する。 	90	20
出張まちのきこり人育成講座	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成26年度から亀山市において継続実施しており、令和2年度も2日間の講座を行う。(11月) ● 桑名市の桑竹会の依頼で平成29年からミニ講座を行っている。依頼があれば実施の予定。 	20	20
5. 森林活動体験研修会			
◎まなびの森	<ul style="list-style-type: none"> ● 菰野町江野0.4ha、平成21年活動開始、三重銀行協働。 ● 年数回三重銀行有志と共にフィールド管理すると共に、工作教室イベントを行う。又、道具類整備資機材・薪・苗木・キノコ類の保管、活動全般の準備作業の場として活用する。 	250	50
◎御在所岳 GOGO植樹	<ul style="list-style-type: none"> ● 鈴鹿国定公園制定50周年を記念し5,500本の植樹を目指し、平成24年から始め平成30年度までに2,230本の植樹を行った。 ● 令和1年度は植樹イベントが無かった。年数回植栽地の維持管理を行う。三重銀行の植樹イベントを行う。 	40	40
◎学校等 森林活動体験	<ul style="list-style-type: none"> ● 亀山市の環境教育として昨年、木工教室を1回実施しており、今年度も要請があれば対応する。常盤西小学校1回(裏山整備及び授業)。桑名市環境学習。 	60	300
◎ナラ枯れ研究	<ul style="list-style-type: none"> ● 28年度からの独自研究。三重県民の森において、ナラ枯れ再生研究調査のため、2基のパッチデフェンス内で木炭による土壌中性化、及び追跡調査を行っている。 ● 引き続き、PH値や植生の調査を行う。 	10	0
◎新たな技術の確立	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成29年度に「植樹木の成長を促すための土壌分析」キットを購入整備した。第1ステップとして菰野富士周辺におけるサクラ、アカガシ、シャクナゲ等に対する植樹地の適正評価から始め、第2ステップとしてホンダの森、コメダの森と調査範囲を拡大している。 ● 平成29年度にドローンを購入整備した。各施業地の整備進捗状況を空撮して。今後の活動に生かしたい。 ● 平成30年度に助成金で精油抽出器を購入、現在多くの樹木で抽出が出来る事を確認済みで今後、イベント等でデモを計画する。 	30	0
◎イベントの参加	<ul style="list-style-type: none"> ● 鈴鹿川海山交流会2回(5月、7月)。県民植樹祭(10月24日)。 	30	250
6. 間伐材の有効利用			
広葉樹の薪への加工・販売	<ul style="list-style-type: none"> ● 30㎡収納出来る薪小屋と22t薪割り機が整備されている。年15～20㎡の薪を加工、販売する。 	30	
QRコード樹木版	<ul style="list-style-type: none"> ● 林業家、製材業とタイアップし、広葉樹の有効活用として平成27から運用開始。運用拡大を図る。 	20	
◎苗木の育成	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和2年2月現在シャクナゲ170本、ツツジ420本、モミジ80本、アカガシ41本、ミズナラ950本、その他ツツジの挿し木。 	30	
7. 管理事業			
◎機関紙発行	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成23年9月に第1号を発行し、令和2年3月までに37号発行している。(令和1年度は3回発行) ● 令和2年度は2回(1月と7月)発行する。 	20	
その他管理事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 年2回総会、理事会、チーム打合会の開催他、書類作成・整理する。また、活動拠点(まなびの森)の整備を進める。 	50	
計		1,675	1,670

* 参考: 会員の延べ活動参加人数の実績
(過去5年間)

H27	H28	H29	H30	R01
1,700人	1,450人	1,652人	1,549人	1,677人



「2020まちのきこり人育成講座」秋バージョン

いよいよ2020年「まちのきこり人育成講座」を再開します！

◇ まちのきこり人育成講座 2020

第1回 9/13(日) きこり体験

のこぎりを使って木を伐る。木の伐り方、倒し方、枝打ちなど

第2回 9/20(日) 森を測る

森づくりの第1歩。コンパス測量、標準地調査と選木、森のデータ化

第3回 4/27(日) チェンソーに触れる

チェンソーの取扱い、メンテナンス、安全・危険を学び、実際に伐ってみる

第4回 10/11(日) チェンソーで伐る①

作業前準備、ロープワーク、伐倒、玉切り、枝払いの基礎等

第5回 10/18(日) チェンソーで伐る②

伐倒、玉切り、枝払い、特訓(チェンソーワークの体得)。

第6回 10/25(日) チェンソーで伐る③

伐倒・掛木処理等、道具の説明。搬出デモ。

第7回 11/8(日) 安全・衛生講習

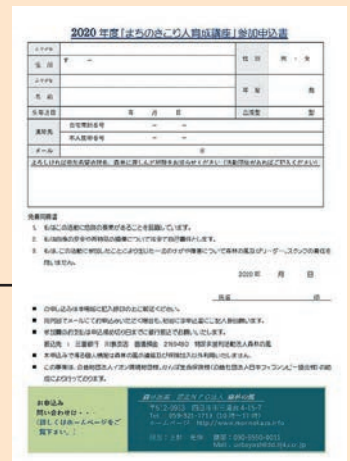
森林整備での健康管理、危険な植物の学習。及び、普通救命講習を行います。

◎ 申込詳細につきましては、ホームページからダウンロードできます。

また、お問い合わせは、担当 上林まで。

携帯090-6590-0011 E-Mail uebayasi@dd.ijeu.or.jp

※この事業は、公益財団法人イオン環境財団様の助成により行っております。



新型コロナウイルス感染症対策について

- 講座受付時には、当日の体温等の確認をさせていただきます。
- 座学時にはマスクの使用をお願いします。
- 消毒液等につきましては、森林の風でご用意させていただきます。

労働安全衛生規則の一部を改正について

伐木作業等の安全対策の規制が変わりました！

～伐木作業等を行うすべての業種が対象～

厚生労働省は、伐木作業等における労働災害を防止するために、労働安全衛生規則の一部を改正し、伐木作業等における安全対策を強化しました。

林業、土木工事業や造園工事業など、業種にかかわらず、伐木作業等を行うすべての業種が対象となります。適用日は令和2年8月1日です。



※ 今回の講座から、新しい安全規則にのっとり内容となります。

2020
まちなきのこり人
育成講座
レベルアップ研修
開催予定



第1回レベルアップ研修会

- 2020年8月22日(土)-23日(日) 森林見学会(岡山県新見市:天然林施業実施箇所)
今年度は、林野庁近畿中国森林管理局 森林技術・支援センターを見学します。ここでは、早生樹センダン・コウヨウザンの森、里山広葉樹林の森等を見学します。

第2回レベルアップ研修会

- 2020年9月6日(日)
講師に、「Keep協会」代表の川嶋直氏をお招きして、環境教育の神髄をご講義していただきます。

第3回レベルアップ研修会

- 2020年12月6日(日)
昨年に引き続き講師に、「森と木の技術と文化研究所」代表の内田健一氏をお招きして、人工林施業における各種ノウハウについて実習を含めご講義していただきます。
内田先生は、2001年から岐阜県立森林文化アカデミー講師を務め、2009年に北海道黒松内町に移住し「森と木の技術と文化研究所」を設立されました。著者には「森を育てる技術」等があります。

第4回レベルアップ研修会

- 2020年12月20日(日) 9時から15時 鈴鹿川源流探訪
今年も鈴鹿川をさかのぼります。今年、どの支川をさかのぼろうかと思案中です。

年明けの1月、2月も開催します。

例年通り黒滝村森林組合の 梶谷 哲也様、伊那市の山造り舎の川 島 潤一様にも、新しい内容での講座をお願いしております。



※その他にも、計画を進めています。決まり次第、ホームページ等にてご案内します。

よろしくお願ひします。

その他のイベント

三重県の間伐材の活用をテーマに、「樹木を楽しもう会」を開催します。

日 時 令和2年8月2日(日) 10:00~15:00(少雨決行)

場 所 まなびの森(菰野町千草7045-82)

会 費 無 料

メニュー ①スウェーデントーチ ②タンコロイス ③板材製材 ④薪わり
⑤精油作製 など

※この催しは、公益社団法人三重県緑化推進協会から助成を受け実施しています。



御在所岳頂上植樹《“5500本 GOGO植樹”プロジェクト》のご案内



「回復植樹実施地」自然環境が厳しいため、著しく成長が阻害されていますが、確実に活着し生きています。

この活動は企業及び個人の皆様のご寄付によって成り立っています。苗木の育成・植樹費用として1口3,000円より寄付を募集しております。

ご協力よろしくお祈りします。

また、来年度からは、皆様の寄付金を基に植樹イベントも計画したいと考えております。多くの方のご協力をお待ちしております。

三重県北部に位置する標高1,200mの名峰「御在所岳」は、モミジ、ミズナラ、シロモジ、ヤシオツツジ、ドウダンツツジなどが新緑や紅葉、花が美しく、四季を通じて親しみられています。しかし近年では、山頂付近にいるはずのカモシカが麓に追いやられるほどシカが増加し、シカの食害である樹皮を剥いで樹木が枯死する大きな被害が出ています。森林の風では2010年より、国定公園内である現地において、三重県の許可を得て採取した種子や苗を育て環境回復を目的とした植樹活動を行っています。それには多くの時間と費用が必要です。



平成30年度開催された「国定公園制定50周年記念植樹」における植樹地。ここも、森林の風が管理しています。

森林の風～最新データ～

2020年6月30日現在

◆取組事業総数		30
◆活動フィールド	人工林	2
	里山整備	8
	竹林	1
◆フィールド総数		約50ha

2020年度4月から6月の累計

◆活動日数	25日
◆会員延べ参加数	251人
◆延べ受益者数	33人

設立来累計

◆植樹数	約11,300本
------	----------

森を守り育てる活動にご協力ください

寄付を募集!!

年会費 (賛助会員)	個人 1口 3,000円
	法人 1口10,000円より
特典	年2回発行の機関紙「もりのかぜだより」や各種案内を送付させていただきます

加入社名：特定非営利活動法人 森林の風
郵便振込：00830-4-159060
通信欄に、おところ・おなまえ
ご連絡先電話番号をご記入ください

《2020年度 寄付金一覧》6月現在

・アブライドマテリアルジャパン(株) …………… 400,000円

*ご協力ありがとうございました